

## ①2037年リニア中央新幹線全線開業・「奈良市附近駅」の設置



「骨太の方針2024」に、最速2037年全線開業という目標を堅持すること及び名古屋以西区間の駅の整備に関する検討を深度化する方針を記載いただくなど、駅位置・ルートへの決定に向け、国として積極的に推進する姿勢を示していただいていることに、心より感謝。

### 【本県の基本姿勢】

○ リニア中央新幹線の大阪までの全線開業、そして「奈良市附近駅」の設置は、本県の新たな発展の基軸となるもの。

本県は、リニア中央新幹線の整備促進と「奈良市附近駅」の早期確定に向けて、全面的に協力・推進していきます。

○ また、リニアの整備効果が、観光・経済面など広範にわたって県内全域に及ぶよう、必要な調査・検討を進めます。

(参考)「経済財政運営と改革の基本方針2024」(令和6年6月21日閣議決定)  
リニア中央新幹線については、(中略)全線開業に係る現行の想定時期の下、適切に整備が進むよう、(中略)名古屋以西について、駅の整備に関する検討の深度化など、整備効果が最大限発揮されるよう、沿線自治体と連携して駅周辺を含めたまちづくりを進める。

### 【今年度の取組】

○ リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会総会を開催し、「奈良市附近駅」位置及び三重・奈良・大阪ルートの早期確定、早期事業化に向けた取組を引き続き進めるよう、関係者の一致協力を推進します。

○ リニア建設促進期成同盟会、三重・奈良・大阪三府県建設促進大会等の主催。

○ 名古屋・大阪間の早期着工に向けた地域の準備を加速化させるため、「三重・奈良・大阪建設促進連携会議」を設置しました。3府県が連携して駅位置・ルートの早期確定に向け、協力を推進していきますので、本取組についても国のご支援をお願いしたい。



令和5年度の奈良県総会にて  
リニア実験線試乗を報告



## ②駅位置・ルートの決定に向けて

○ JR東海が県内駅候補地で実施中のボーリング調査について、県有地の提供を行うなど、密接に連携し、取り組みを全力で推進。

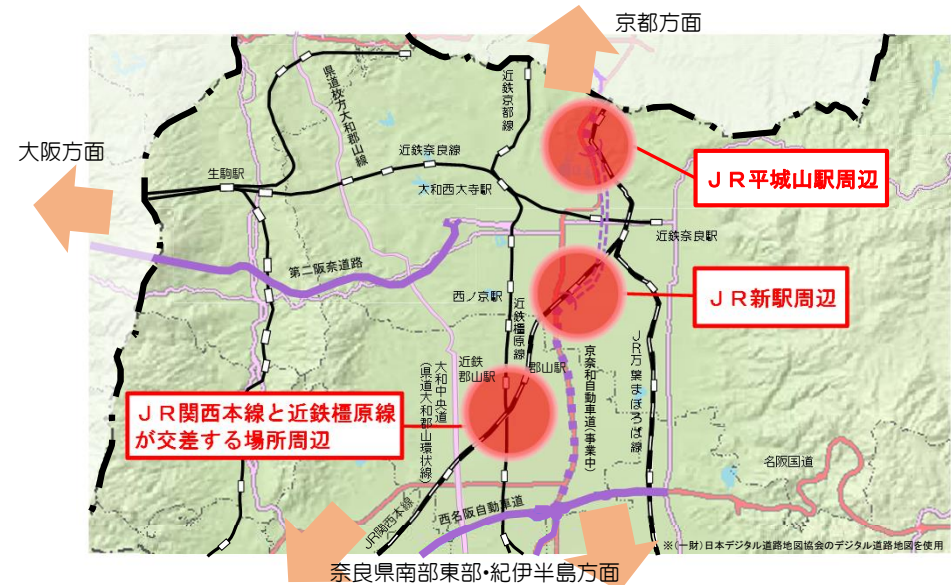
○ 「奈良市附近駅」が、

- 本県全体、ひいては紀伊半島全域のゲートウェイ
- 大阪・京都を含めた関西のゲートウェイ、

となるよう、産業・観光など多方面にわたるポテンシャルや戦略的な活用方策、交通アクセス等について検討を進める。



ボーリング調査の様子  
(奈良県内)



## 国にお願いすること

1. 早期に名古屋・大阪間の環境影響評価法に基づく手続を進め、「奈良市附近駅」の位置及び三重・奈良・大阪ルートを一日も早く確定すること。
2. 2037年の東京・大阪間全線開業に向け、本県区間を含む名古屋以西区間の工事に早期に着工すること。
3. 車両基地を大阪のターミナル駅の近傍である奈良県内に設置すること。